

平成19年 1月25日

第129号

発行所 広島県歯科医師連盟

広島市中区宝町5-30 TEL (082) 241-8020

編集兼発行人 栞田 博 昭

広歯連盟 ニュース

KEEP 20 TEETH TILL YOUR 80



8020運動

80歳で20本以上の自分の歯を保ちましょう



頌 春

平成十九年
広島県歯科医師連盟



写真：県歯連盟員 片岡直樹氏(佐伯)

年 頭 所 感

広島県歯科医師連盟

会長 本 山 栄 荘



新年あけましておめで
とございます。

連盟員の先生方には、
ご家族お揃いでお健やか
な新年をお迎えのことと
存じます。

振り返ってみますと、
昨年は、世界にあつては
北朝鮮による核の脅威等
アジアにおける政情不安
や中近東における紛争の
続発は世界中の人々を不
安に陥れております。

また、国内にあつては、
長く続いた小泉政権の終
焉、安倍新政権の誕生に
よつて、経済中心の構造
改革も変化が見られるの
ではと淡い期待を寄せて
いるところです。
小泉政権が行つてき

た、三位一体改革によつ
て、巷では、一部企業の
好景気のみ取りざたされ
ておりますが、医療界で
は好景観を感じるには程
遠い現状であることは、
先生方が十分肌で感じて
おられることと思ひます。
特に、歯科界にあつて
は、昨年4月に行われた
3回連続となつた診療報
酬のマイナス改定は、医
学管理提供文書の発行
や、診療内容の詳細を記
した領収書発行の義務付
け等の影響と相俟つて、
実質改定率をはるかに上
回るものであり、医院経
営に大きな暗雲をもたら
せております。

更に、本年4月実施予
定の医療法改正によつ
て、医療安全体制の確
保・患者への医療に関す
る情報提供の推進・医療
従事者の資質向上・臨床
修練の対象拡大・社会医
療法人制度の見直し

等々、医院経営に対して
より一層の圧力がかかる
ことが予想されます。
これらに加え、201
1年にはレセプトオンラ
イン化の義務付けや医療
団体の根幹にも拘わる公
益法人の許認可の見直し
等、暗く長いトンネルの
出口はなかなか見出すこ
とはできない状況にあり
ます。

しかしながら、このよ
うな山積する諸問題に対
して、我々はただ手をこ
まねているわけにはい
きません。歯科界の業権
を守るためには、今春の
統一地方選挙を始めとし
て、ロビー活動はさらに
重要になつて参ります。
我々は、法外な要求を
しようと思つているわけ
ではありません。地域に
根ざした良質で平等な歯
科医療の提供に対する正
当な評価を望んでいるだ
けなのです。

そのためには、机上の
みで歯科医療を知るだけ
でなく、現場において歯
科医療の実態を知り、そ
して問題点や現場の声を
届けてくれる人を政治の
場に送ることが重要であ
ると考えております。ま
た、それが国民のため
あることを、もっともつ
と国民の皆さんにも認識
してもらいたいと思つて
おります。

このようないふから、
いよいよ今夏に迫つて参
りました参議院議員選挙
においては、昨年日本歯
科医師連盟の統一候補者
に決定した、本県連盟員
の石井みどり先生を何
何でも国政の場へ送らな
ければなりません。

地域で歯科医療を守つ
てこられた石井みどり先
生が、我々の代表として
国政の場に出られること
は、すなわち我々歯科界
の業権を守ることであ
り、国民の健康を守ると
いうことをご理解いた
だき、先生方には絶大な
ご支援を改めてお願い申
しあげる次第です。

これからも、執行部と
しては、先生方の浄財を
有効に活用するため、推
薦議員への積極的ロビー
活動を行い、連盟活動に
全力を傾注して参りたい
と存じますので、暖かい
ご理解を賜りますよう重
ねてよろしくお願い申し
あげます。

会 員 の 皆 様 へ

日本歯科医師連盟
参与 石井みどり



昨年日本歯科医師連
盟のご推薦をいただき、
第21回参議院比例代表
選挙の自民党公認とな
つて3月25日に全国行

脚の第一歩を踏み出して
以来、全国を廻らせてい
ただいておりますが、ど
ちらへ参りましても暖か
く、というより、むしろ
熱くお迎えいただき、先
生方をはじめ、ご家族、
スタッフの方々と直接触
れ合うことができ、ご接
拶、握手、写真撮影など、
励ましの言葉をかけてい
ただいたことは、とても

嬉しく、胸の熱くなるよ
うな思いをいたしました。
心から厚くお礼申し
上げます。
昨年4月の診療報酬改
定は本当に厳しいもの
で、公称マイナス3・
16%、日本歯科医師会の
アンケートの中間報告で
はマイナス4・6%とな
つていますが、全国の先
生方にお会いして伺つた

実感としては、10%を超
えるものと受け止められ
ています。
さらに、文書提供、カ
ルテ記載、領収書発行等
事務量増加も大きな負担
になっております。

新年早々、暗い話にな
りましたが、この歯科界
の苦境を看過、放置する
ことは断じてならず、国
民の方々に新たな社会保
障のありようを提言し、
歯科医療の果たす大きな
役割のための施策を是
非、国政の場で実現して
いきたい、臨床現場から
の思いを国政に伝えた
いと決意を新たにしてい
ます。

これからも、さらに
多くの先生方とお会い
して、ひとりでも多く
の先生方にご理解とご
支持を得るために精一
杯頑張る所存ですので、
先生方の暖かいお力添
えを心からお願ひ申し
上げます。

最後に広島県歯科医
師連盟の益々のご発展
と、皆さまのご健勝と
ご活躍を心よりご祈念
申し上げます。

感 所 頭 年

団結して困難な現状を 打破しよう

日本歯科医師連盟

会長 永山 一行



新年あけましておめでとございます。先生方には、平成19年の新春を爽やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は4月の診療報酬改定への対応、石井みどり中央後援会、の立ち上げ、全国展開した積極的な後援会活動など、新生日歯連盟にとって試練の年でもありました。昨年の診療報酬改定はマイナス改定に加え、歯科医学的根拠や臨床の実態を無視した大改悪であり、到底納得のいくものではありませんでした。日本歯科医師会では早速、厚

生労働省と協議し、運用面での改善を図り、その結果、簡素化が実現しましたが、現在歯科医師の裁量権に関する多くの部分が中協協会の協議待ちとなっております。4月から7月までの医療費総額の伸び率がメディアから発表されていますが、歯科はマイナス2.9%（一医療機関に換算するとマイナス4%）となっております。われわれの実感とは若干かけ離れている数字ですが、先生方が診療時間の延長など、涙ぐましい努力の結果ではないかと考えられます。このような状況が続くことは、歯科医療機関の経営悪化に一層拍車がかかり、良質で安全な歯科医療を提供することが困難になります。日歯連盟で

は、推薦議員等に対して本年4月における改定の見直しを行うよう鋭意働きかけを続けております。一昨年の12月に政府与党医療改革協議会で、医療制度改革大綱が策定され、それを受けて昨年の6月に医療制度改革関連法案が成立しました。少子高齢化が進展する中で将来を見据えた今回の医療制度改革法案は、自

助・共助・公助や税・保険料の役割分担、世代間・世代内の公平性等に留意しつつ、社会保障制度全体を捉えた一体的見直しを推進するとしていますが、どうも心配でありません。医療というのは基本的なニーズに関わる分野で、公平・平等が最も強く求められる領域です。公的にしっかりと保障されるべきだと思います。今の日本の医療費に占める患者の自己負担割合は主要先進国の中で最も高い部類です。今年は高齢

者の自己負担の見直しを求めているかと思っております。さらに今回の医療制度改革法案では、後期高齢者医療制度の創設、保険外併用療養費の創設、中協協会の委員構成の見直し、レセプトオンライン化などこれからの歯科医療のあり方を左右する重要な課題が山積しています。勿論、これらの課題に取り組むのは、日本歯科医師会の役割であることはいうまでもありません。しかし、日歯連盟が日歯の政策を国政の場に要求していくためには、連盟自身がその改革を理解し、時に政治的立場から政策を提言する必要があります。必要もあると思います。

本連盟の医療制度問題対応チームの今年の活動に期待しているところであります。日歯連盟が過去から連綿と続けてきた大きな役割のひとつに職域代表としての歯科医師を国政の場に送りこむことが挙げられます。ご承知のよう

に、昨年3月の評議員会で石井みどり先生が選ばれ、本連盟に石井みどり中央後援会、都道府県歯連盟には石井みどり後援会が設置されて以降、全国で活発な後援会活動が、本年7月の選挙に向けて展開されています。石井先生は、会員と同じ痛みや苦しみを喜びを知り、開業医です。会員と同じ目線で考え、行動できる歯科医師です。歯科医師の業権維持・確保のために全力で戦ってくださる人です。是非とも国政の場に送らねばなりません。そのためには、会員一人ひとりが力を合わせて組織としての団結力を示さねばなりません。団結力を示すことが歯科をとりまく困難な状況の打破につながるものと確信しております。

先生方のご理解ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



国務大臣・国家公安委員長
防犯担当大臣
参議院議員 溝手 顕正

「安全・安心の国づくり」に向け尽力致します。

新年明けましておめでとございます。先生方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年稀に見る凶悪化・組織化する犯罪や、テロの問題等、昨今の厳しい犯罪情勢には、皆様も大きな不安を抱えておられることと思います。地方の警察官の増員や、組織化・巧妙化する犯罪に対応できる警察組織の構築等をはかりながら、多発する飲酒運転の取り締まりにも積極的に取り組む、交通犯罪の根絶にも力を尽くして参ります。

「上げ潮元年」の年に
自由民主党幹事長
衆議院議員
中川 秀直



平成19年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶

を申し上げます。広島県歯科医師連盟の皆様には、お揃いでご健にて新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

掲げる安倍政権が発足しました。そして、安倍総理より、自民党幹事長を拝命しました。信念の安倍総理を、「平泉の弁慶」のごとく、幹事長として全身全霊を捧げ、しっかりとお支えしたいと思っております。

今年春の統一地方選挙を経て、いよいよ夏には、天下分け目の参議院決戦があります。参議院

選挙の争点は、「ストップ・ザ・公務員大増」「ストップ・ザ・重税国家」です。昨年末には日本経済の景気拡大が58ヶ月連続となったことが確認されましたが、米国経済を見れば、1991年3月以降、わずか数ヶ月の調整期間を経て今日まで景気拡大が続いています。英国経済を見れば1992年7月から14年間、170ヶ

月以上の景気拡大が続いています。日本経済もまだまだ景気拡大を続け給与に、家計にその恩恵がいくようにしなければなりません。

名目4%成長を続ければ、18年でGDPは倍増します。そうして初めて、歯科医療をはじめとする社会保障全体の財源（税と保険料の国民負担率で約200兆円の増）を確保

できます。今年をその「上げ潮元年」にするためにも、経済成長と財政再建の好循環をつくらなければならず、成長政策と歳出削減の両立が重要です。限りなく増税をゼロに近づけます。何卒、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

昨年9月、「成長なくして日本の未来なし」を

両立が重要です。限りなく増税をゼロに近づけます。何卒、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

大変大きな重責ではありますが、重責をやりがいに変え、皆様のご期待にそうべく、誇りと自信を持って、皆様とともに「安全・安心な国づくり」を行って参ります。

また本年は、統一地方選挙また参議院議員選挙が行われます。私も4期目に向けての挑戦となります。政権与党の一員として、責任と使命感を持って、「本物の政治」の実現に向け今後も尽力して参ります。皆様方の力強いご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

内政、外交等、我が国を取り巻く情勢は、大変厳しいものがございますが、政治主導によって誤りなき方向へと導いていかなくはなりません。本年も必ずしも楽観は許されませんが、一年にわたることも予想されませんが、今後も皆様の目線に立つて、またリーダーシップを発揮しながら、たゆまぬ努力を続けて参ります。

終わりに、皆様ご健康で明るい幸せな一年でありますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭所感

年頭のあいさつ

広島県知事 藤田雄山



新年明けましておめでとございます。

県民の皆様には、さすがしい新春をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

わが国経済は、原油価格の動向が内外経済に与える影響等に留意する必要があるものの、企業収益が改善し設備投資が増加するなど、景気は回復基調にあります。一方、県内経済も、輸出、生産が引き続き増加する中で、設備投資も高水準の計画をさらに上方修正する動きが広がるなど、回復を続けております。

こうした中、本県では、昨年4月にスタートした新たな総合計画「元気挑戦プラン」を、次の4つの重点プログラムに沿って、強力に推進しているところでございます。

まず、「明日を拓く、人づくりにつまましては、

この4月から、本県における文化振興の拠点施設である旧郵便貯金ホール

の管理運営を県が担うこととし、広島中都市圏の拠点性の維持・向上を図ります。一方、5月には、広島県とハワイ州が友好提携を締結して10周年を迎えます。今後とも官民を挙げた幅広い交流を進めて参ります。

さらに、暮らしの「安心づくりにつまましては、社会全体で子育てを応援する環境づくりの環境として、昨年11月、経済団体や県などで構成する「こども未来づくり・ひろしま応援隊」を結成いたしました。今年2月から事業開始に向け、子育て家庭にやさしいサービスを提供いただく企業や店舗など募集に取り組みとともに、引き続き、この「応援隊」を中心に、官民一体となって、社会全体で子育てを応援する機運醸成や環境づくりを進めます。また、昨年11月、新たな「減らそう犯罪」ひろしまアクション・プラン」を策定いたしました。今後は、このプラン等に基づき、県民、事業者、市町等と協働・連携した取り組みを展開し、5年間で刑法犯認知件数をピーク時から半減させるという行動目標の達成に努めて参ります。

最後に、「自治」づくりにつまましては、県から市町への事務・権限の移譲について、県内23の全ての市町との間で平成19年度の移譲項目を決定いたしました。中でも旅券事務につまましては、先行実施の三次市を含め、本年6月から県内一斉に移譲することとしております。今後も、住民に身近な行政サービスが、住民に身近な基礎自治体で提供できるよう市町への事務・権限の円滑な移譲に努めます。

広島県はこれらの施策に全力で取り組んで参りますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願いたします。県内外の人々から「住んでみたい、住み続けたい」と心から実感していただける「元気な広島県」をともにつくって参りましょう！

新年の門出に当たり、皆様のご多幸とご健康を心からお祈りいたします。

昨年9月に安倍総理が誕生し、新内閣が発足しました。その中で私は、自民党の国会対策副委員長という役にあたることになりました。国会の円滑な運営のため、野党と直接折衝する役です。

また、国対副委員長はそれぞれ担当の委員会が割り当てられるのですが、私は厚生労働委員会を担当することになりました。医療や年金など問題が山積している中、国民のための議論が丁寧にされるよう引き続き国会運営に努力して参りたいと思っております。これからも先生方の貴重なご意見を賜りまして、「ご指導をいただければと存じます。

最後に、広島県歯科医師連盟のますますのご発展と、先生方のご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭所感

衆議院議員 岸田文雄



平成19年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

広島県歯科医師連盟の先生方におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、国対副委員長はそれぞれ担当の委員会が割り当てられるのですが、私は厚生労働委員会を担当することになりました。医療や年金など問題が山積している中、国民のための議論が丁寧にされるよう引き続き国会運営に努力して参りたいと思っております。これからも先生方の貴重なご意見を賜りまして、「ご指導をいただければと存じます。

最後に、広島県歯科医師連盟のますますのご発展と、先生方のご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

あけましておめでとうございます

衆議院議員 河井克行



広島県歯科医師連盟の皆様におかれましては、輝かしい平成19年の新春をお迎えになられたことを心よりお慶び申し上げます。本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年

になりまして、心から感謝申し上げます。昨年9月に安倍総理が誕生し、新内閣が発足しました。その中で私は、自民党の国会対策副委員長という役にあたることになりました。国会の円滑な運営のため、野党と直接折衝する役です。

また、国対副委員長はそれぞれ担当の委員会が割り当てられるのですが、私は厚生労働委員会を担当することになりました。医療や年金など問題が山積している中、国民のための議論が丁寧にされるよう引き続き国会運営に努力して参りたいと思っております。これからも先生方の貴重なご意見を賜りまして、「ご指導をいただければと存じます。

最後に、広島県歯科医師連盟のますますのご発展と、先生方のご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

改めて感謝申し上げます。昨年9月に安倍総理が誕生し、新内閣が発足しました。その中で私は、自民党の国会対策副委員長という役にあたることになりました。国会の円滑な運営のため、野党と直接折衝する役です。

また、国対副委員長はそれぞれ担当の委員会が割り当てられるのですが、私は厚生労働委員会を担当することになりました。医療や年金など問題が山積している中、国民のための議論が丁寧にされるよう引き続き国会運営に努力して参りたいと思っております。これからも先生方の貴重なご意見を賜りまして、「ご指導をいただければと存じます。

最後に、広島県歯科医師連盟のますますのご発展と、先生方のご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

伴う内閣・党人事により、私は自民党国会対策副委員長を退き、政務調査会の国防部長に就任し、党における防衛政策決定の責任を担うことになりました。北朝鮮の核実験やミサイル連射、中国の軍事力増強、そして米軍再編の進展など、私たち日本人が先の大戦後、経験しなかった安全保障環境の激変がいま目の前で起こっています。国民が日々安心して安全に暮らしを営むことがで

きるため、命懸けで与えられた重責を果たしていく決意です。今年も医療・介護・福祉の制度改革議論が盛んに行われますが、忘れてならないことは、国民皆保険制度の堅持という国民全体の利益を擁護することです。良識を持って患者本位の医療提供を進めていってほしいと先生方からご指導いただけることを心からお願い申し上げます。

昨年、国対副委員長はそれぞれ担当の委員会が割り当てられるのですが、私は厚生労働委員会を担当することになりました。医療や年金など問題が山積している中、国民のための議論が丁寧にされるよう引き続き国会運営に努力して参りたいと思っております。これからも先生方の貴重なご意見を賜りまして、「ご指導をいただければと存じます。

最後に、広島県歯科医師連盟のますますのご発展と、先生方のご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

伴う内閣・党人事により、私は自民党国会対策副委員長を退き、政務調査会の国防部長に就任し、党における防衛政策決定の責任を担うことになりました。北朝鮮の核実験やミサイル連射、中国の軍事力増強、そして米軍再編の進展など、私たち日本人が先の大戦後、経験しなかった安全保障環境の激変がいま目の前で起こっています。国民が日々安心して安全に暮らしを営むことがで

きるため、命懸けで与えられた重責を果たしていく決意です。今年も医療・介護・福祉の制度改革議論が盛んに行われますが、忘れてならないことは、国民皆保険制度の堅持という国民全体の利益を擁護することです。良識を持って患者本位の医療提供を進めていってほしいと先生方からご指導いただけることを心からお願い申し上げます。

昨年、国対副委員長はそれぞれ担当の委員会が割り当てられるのですが、私は厚生労働委員会を担当することになりました。医療や年金など問題が山積している中、国民のための議論が丁寧にされるよう引き続き国会運営に努力して参りたいと思っております。これからも先生方の貴重なご意見を賜りまして、「ご指導をいただければと存じます。

年頭所感

年頭のご挨拶

衆議院議員 宮沢洋一



平成19年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年米荘会長をはじめ、広島県歯科医師連盟の先生方、並びにご家族、ご関係者の皆様におかれましては、お元気で新春をお迎えのことと、心から

努めるとともに、党国土交通部会長として、「次世代に向けた戦略的社会資本整備の在り方について」フロンティアからストックへ、「2000年住宅ビジョンの中間報告」をとりまとめるなど精力的に活動させて頂きました。10月からは、党行政改革推進本部事務局長、国土交通委員会委員、さらに2度目の厚生労働委員会議事に就任いたしました。これも偏に先生方のご指導の賜物と感謝しております。

旧年中は格別のご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。また、日頃から地域生活に密着した歯科医療はもとより、8020運動の推進などを通じ、我が国の健康長寿大国化にご尽力され、県民の健康増進に対する多大な貢献に敬意を表します。私は昨年、衆議院の議院運営委員会理事として円滑な議会運営に

口減少社会に突入した現在、健全な食生活の基礎となる口腔機能の維持・増進の重要性は年々高まっています。本年も、歯科保健対策の充実など諸課題の克服と歯科界の発展のために全力を挙げて取り組んで参りますので、引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。最後に、貴会の益々のご発展と、皆様のご多幸とご健勝を祈念し、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

新春の御挨拶

衆議院議員 寺田稔



新年明けましておめでとうございます。広島県歯科医師連盟の先生方におかれましては、お健やかに新春をお迎えになられたこと心よりお慶び申し上げます。旧年中は多大のご支援ご鞭撻を賜り誠にありがとうございました。おかげをもちまして、元気に政治活動を

現在国会におきましては、衆議院安全保障委員会、内閣委員会に所属し、外交・防衛、治安、防災など安心・安全の確保などの諸問題に鋭意取り組んでおります。また、衆議院安全保障委員会においては引き続き与党理事を拝命し、与党自民党を代表して衆議院本会議において我が国安全保障体制の構築に向けて代表質問登壇を行いました。また内政面では、「地域再生なくして日本再生なし」との強い信念の下、

「呉・芸南地域再生プラン」に全力を挙げて取り組んでおります。さらに地元においては、子育て支援と高齢者の安心確保、ごみゼロ社会の実現などの政策公約を掲げております。これからの人生百年時代を迎えるにあたっては、健康長寿という観点から歯の健康が極めて重要であります。適正な歯科診療の実現と歯科医師の向上のため、尽力致したく存じます。小職も身内に4名の歯科医師及び5名の医師がおり診療現場の重要性と困難性については充分認識を致しております。国民皆保険制度の下、フリーア

「呉・芸南地域再生プラン」に全力を挙げて取り組んでおります。さらに地元においては、子育て支援と高齢者の安心確保、ごみゼロ社会の実現などの政策公約を掲げております。これからの人生百年時代を迎えるにあたっては、健康長寿という観点から歯の健康が極めて重要であります。適正な歯科診療の実現と歯科医師の向上のため、尽力致したく存じます。小職も身内に4名の歯科医師及び5名の医師がおり診療現場の重要性と困難性については充分認識を致しております。国民皆保険制度の下、フリーア

もに地域間格差の是正を図ってまいりたく存じます。まだまだ若輩かつ微力の身ではございますが、地元の発展のため、また、国政の更なる伸長のため、頑張り抜く所存でございますので何卒宜しくご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。おわりにあたり、広島県歯科医師連盟の先生方がこの一年間、お元気で活躍されますことを心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

境界領域を越えて

衆議院議員 増原義剛



新年あけましておめでとうございます。広島県歯科医師連盟の皆様方には健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。併せて診療歯科や、医科との総合診療、児童虐待防止マニュアル作成等、従来の境界領域を越えて取り組んでおられる

皆様は感謝申し上げる次第でございます。さて、昨年は約5年半続いた小泉政権が終わりました。「改革なくして成長なし」、「官から民へ」、「国から地方へ」をスローガンに、これまでタブーとされていた諸問題にも切り込み、バブル崩壊後の日本経済を自立的な回復軌道に乗せました。安倍内閣も基本的にこうした路線を引き継いで

で行く訳ですが、これまでの改革路線の中で生じたひずみ、格差にどう取り組んで行くかが大きな課題です。例えば、中国、韓国との外交関係の正常化なくして北朝鮮問題の解決はあり得ません。また、都市と地方の格差の拡大は「国から地方へ」という形式論では対応不可であり、若年層を中心としたフリーターの増大は、所得格差が拡大し、年金や少子化問題の大きな要因の1つです。消費者金融の250万人といわれる

多重債務者の対策も待たなす。更に中長期的解決を要する教育問題、持続可能な社会保障、財政再建など課題山積みですが、今年も皆様との対話を重視しながら活力ある社会の実現のために頑張りますのでよろしくお願ひ申し上げます。終わりに、広島県歯科医師連盟の先生方へ、改めて申し上げます。併せて診療歯科や、児童虐待防止マニュアル作成等、従来の境界領域を越えて取り組んでおられる

安心と信頼の歯科医療の確立

衆議院議員 平口洋



明けましておめでとうございます。広島県歯科医師連盟の先生方並びに御家族、関係者の皆様にはお元気で新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。先生方には平素

歯科医療を通じて国民の健康の保持増進に大きく貢献されており、深く感謝致します。私は昨年は衆議院厚生労働委員会委員として国会活動を行いました。健康保健法の一部を改正する法律や良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律が長時間にわたる審議の末、成立致しました。この結果、医療費適正

化の推進、都道府県ごとの健康保険の保険料率の決定などの措置が講じられることになり、医療機関の情報公開制度の導入や処分の強化による歯科医師の資質の向上も図られることになりました。昨年10月に安倍内閣が成立し、文化、伝統、自然、歴史を大切に創る「美しい国、日本」を創ると決意されました。安心な社会をつくるため、分かりやすく、親切で、信頼できる、持続可能な医療制度とし、地域医療の体制整備を図ることとされています。私もこの

ような方向で努力することを決意しています。国や地方の財政は危機的状況にあり、医療費の適正化が強く要請されております。先生方は、厳しい経営環境の中で人件費の削減等により経営の合理化、効率化に努めておられ、深く敬意を表します。私も、診療報酬の適正な評価によって歯科医療の経営基盤が安定し、安心と信頼の歯科医療が確立されるよう努力します。歯科医師連盟のますますの御発展と皆様の御健勝をお祈り致します。



年頭所感

年頭のご挨拶

参議院議員 中原 爽



新春を寿ぎ、歯科界関係各位の益々のご健勝をお慶び申し上げます。

従来から、毎年度の年頭挨拶原稿を提出する時期は、前年12月上旬に納めています。この時節としては、政府・与党が次年度の予算編成と税制大綱を策定する時期に当たりますが今回の策定は、新しい総裁のもとに出発した内閣、政府が対応することになります。とくに税制制度改正の見直しの仕組みは、「政府税制調査会」政府税調」と「自民党税制調査会」党

社会保険診療にかかわる事業税非課税の撤廃と自由診療所得にかかわる軽減税率を確実に見直す」と答申をしています。

私は、毎年この問題について、この非課税措置と軽減税率は、昭和27年6月参議院議員立法により、「医科及び歯科医療については、保険医の保険医療収入を課税標準から除外することと医療法人を新たに特別法人にすることについて、軽減税率を適用する」とした立法の経緯を説明してきました。

調税制小委員会で厚生労働部会の医療・医薬担当の副部長として発言をしてきました。

社会保険診療報酬を得ている医療担当者各位には、現在、この事業税が非課税であるため、課税される実感が無いものと考えられますが、例えば標準税率5%が保険医療収入にも課税されたとして、各位が支払わなければならない税額は、ただちに計算できるはずであります。

誠に残念ですが、私が党税調で発言できるのも今年限りになりますので、この税制にかかわる対応は、後任の関係団体の衆参自民党議員に引き継いでいただく立場であることを申し述べ、歯科界関係各位の更なるご清栄を祈念申し上げます。

と安心、希望のある「元氣な広島県」の実現に向け、行財政改革や諸施策を積極的に推進しているところでございます。

県議会におきましても、魅力ある県政の実現のため、県民の皆様視点に立った政策提言や、より開かれた県議会に向けた取組みに全力を傾注してまいり所存でありま

す。

どうか本年も、相変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年4月には平成大会併後、はじめてとなります統一地方選挙、同時に行います広島市長選挙、7月には参議院議員通常選挙が実施されます。

皆様におかれましては、引き続きわが党に對しまして変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

最後に、新しい年が皆様方にとって、明るく輝かしい年になりますよう祈念し、「ごあいさつ」といたします。

年頭のあいさつ

広島県議会議長 新田 篤実



新春をお迎えのことと存じます。

昨年、秋篠宮同妃両殿下に親王殿下が御誕生になられました。誠に慶賀に堪えないことであり、健やかな御成長をお祈り申し上げます。

一方、国外では北朝鮮による核実験など世界平和を脅かす出来事が後を絶たず、また、国内において、証券取引法違反事件や飲酒運転事故、児童虐待・いじめ問題などモラルの極端な低下がもたらす事件が相次いで1年でありました。

意識の高揚に努めるとともに、各種制度改革に着実に取り組まれているところであり、本県においては、分権型社会の確立に向け基礎自治体が23市町となったところですが、引き続き、住民に最も身近な市や町が自立し自主的な行政運営ができるよう、大幅な事務事業の移譲を進めるとともに、昨年策定した総合計画に基づき、活力

新年明けましておめでとうございます。

広島県歯科医師連盟の皆様には、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、平素から歯科医療を通じて、県の保健医療行政に多大なる御貢献

をいただいておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

日本経済は、長期停滞の長いトンネルを抜け出し、ようやく未来への明るい展望が持てる状況となっており、我が国は、少子・高齢化の進行をはじめとし、経済のグローバル化、分権改革の進展など大きな変革の時代を迎えており、人口減少社会への対応、財政健全化、少子化対策など

国・地方をあげて取り組まなければならない課題が山積しております。

こうした中で、昨年、医療制度改革関連法が成立し、少子・高齢化社会に対応した医療体制の整備が始められております。

生活習慣病予防対策はその大きな柱の一つとなっており、高齢になっても健康で生き生きとした生活を送るためには、生涯を通じた口腔の健康づくりが益々重要になってきております。

また、昨年は、広島県におきましても、新たな

皆様方におかれましては、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

自由民主党広島県支部連合会 幹事長 奥原 信也



ましては、男児のご誕生と言つ、皇室のご慶事を、皆様とともに心からお慶び申し上げます。

今年亥年、猪は一つのことに向かつて突き進むと言われます。目障りなことを大目標にむかっ

さて、世界においては、北朝鮮の核実験等にもなうアジア地域の安全保障の問題、日本においては「いじめ問題」をはじめとする教育の荒廃、様々な諸問題をかかえ今後の日本のゆくえに大きな意味を持つ時を迎えているのではないのでしょうか。

わが自由民主党は昨年9月には総裁選挙を実施し、安倍晋三新総裁を選出しました。「美しい国日本」をスローガンにこの難局に一致結束して邁進する所存であります。

最後に、新しい年が皆様方にとって、明るく輝かしい年になりますよう祈念し、「ごあいさつ」といたします。

年頭のあいさつ

広島県議会議長 林 正夫



をいただいておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

日本経済は、長期停滞の長いトンネルを抜け出し、ようやく未来への明るい展望が持てる状況となっており、我が国は、少子・高齢化の進行をはじめとし、経済のグローバル化、分権改革の進展など大きな変革の時代を迎えており、人口減少社会への対応、財政健全化、少子化対策など

国・地方をあげて取り組まなければならない課題が山積しております。

こうした中で、昨年、医療制度改革関連法が成立し、少子・高齢化社会に対応した医療体制の整備が始められております。

生活習慣病予防対策はその大きな柱の一つとなっており、高齢になっても健康で生き生きとした生活を送るためには、生涯を通じた口腔の健康づくりが益々重要になってきております。

また、昨年は、広島県におきましても、新たな

皆様方におかれましては、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。

広島県歯科医師連盟の皆様方には、清々しい新

社会保険診療にかかわる事業税非課税の撤廃と自由診療所得にかかわる軽減税率を確実に見直す」と答申をしています。

私は、毎年この問題について、この非課税措置と軽減税率は、昭和27年6月参議院議員立法により、「医科及び歯科医療については、保険医の保険医療収入を課税標準から除外することと医療法人を新たに特別法人にすることについて、軽減税率を適用する」とした立法の経緯を説明してきました。

意識の高揚に努めるとともに、各種制度改革に着実に取り組まれているところであり、本県においては、分権型社会の確立に向け基礎自治体が23市町となったところですが、引き続き、住民に最も身近な市や町が自立し自主的な行政運営ができるよう、大幅な事務事業の移譲を進めるとともに、昨年策定した総合計画に基づき、活力

新年明けましておめでとうございます。

広島県歯科医師連盟の皆様には、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、平素から歯科医療を通じて、県の保健医療行政に多大なる御貢献

をいただいておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

日本経済は、長期停滞の長いトンネルを抜け出し、ようやく未来への明るい展望が持てる状況となっており、我が国は、少子・高齢化の進行をはじめとし、経済のグローバル化、分権改革の進展など大きな変革の時代を迎えており、人口減少社会への対応、財政健全化、少子化対策など

国・地方をあげて取り組まなければならない課題が山積しております。

こうした中で、昨年、医療制度改革関連法が成立し、少子・高齢化社会に対応した医療体制の整備が始められております。

生活習慣病予防対策はその大きな柱の一つとなっており、高齢になっても健康で生き生きとした生活を送るためには、生涯を通じた口腔の健康づくりが益々重要になってきております。

また、昨年は、広島県におきましても、新たな

皆様方におかれましては、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

皆様方におかれましては、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭所感

年頭のご挨拶

広島県議会議員 石橋良三



新年明けましておめでとございませう。広島県歯科医師連盟の皆様におかれましては清々しき新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

戦後61年が過ぎ、昨年は正に60年間臭いものに蓋をしてきた日本社会の膿が、もはや押さえ切れなくなつてあちこちから少しづつ吹き出して来た一年であつたように思えてなりません。「...この国はどこかが狂っている...」。国民の多くが感じてい

まれて来て良かったと思える希望に満ちた地域、国家の建設をして行かなければなりません。皆様ご承知の通り、本年7月には参議院議員選挙が実施されます。我等が石井みどり候補を何があっても当選させること、それは、迷走を続ける日本の医療制度を今後、真に国民福祉の増進に向かう道に導く為に欠かすことの出来ない一里塚であります。

即ち、この国は、国全体の精神が病んでいる。どれほど堅牢に見えるものでも崩壊する時は早いものであります。たつた今私たちが暮らしているこの地において、先人達が2千年以上に亘り営々と築いて来られた世界に誇るべき国柄は今にも消え失せ、私たちは、第三世界からも蔑まれてしまつ自堕落な民族に成り果てようとしているのであります。正に、国家の危機、この本当の意味での困難をどのように克服していけば良いのか、また、どのように克服していくべきなのか。今、私たち国民一人一人がぎりぎりの所で問われているのではないかと思つのであります。私たちの取るべき道は、不退転の覚悟を固め、国民の英知を結集し、一つこの国の病巣を除去していく以外にありません。そして子供達が、この国に日本人として生

中川自民党幹事長、溝手大臣を訪問する

11月29日(水)、本山栄荘歯連盟会長・荒川信介歯連盟理事長、そして石井みどり日歯連盟参与は、中川秀直自民党幹事長と溝手顕正国務大臣・国家公安委員会委員・防災担当大臣を表敬訪問した。中川幹事長も溝手大臣も、共に広島県が輩出した国会議員であり、今や日本を担う要職であることからの表敬訪問となつた。両氏からは従前より歯科医療に対して深いご理解をいただいている関係もあり、現在の歯科医療の現場の窮状を訴えると共に、医療制度の改善・歯科医師需給問題・事業税の問題等々について陳情した。今後も、活気溢れる明るい歯科界を取り戻すべくこつこつ地道なロビー活動を続けていく必要がある。



歯科医療が抱える諸問題を陳情



表敬訪問する3氏



石井みどり

FAX通信 Vol-2 2006.12.11

石井みどり中央後援会 〒102-0073東京都千代田区九段北4-1-20 TEL: 03-3262-8644 FAX: 03-3263-0345 http://www.ishii-midori.jp/

《安倍総裁から石井みどり氏に公認証書授与されました》

11月29日、石井みどり候補予定者は、自民党本部において安倍総裁(首相)より公認証書を授与されると共に、併せて総裁、中川幹事長より「必勝祈願」を頂きました。(HPに写真掲載)

この日集まった同じ比例区の候補者は同志であり、一方ライバルでもあります。その中で日歯連盟の力を示すことは当然ですが、一票でも多く石井みどり候補予定者が獲得することは、この良きライバル達に勝ち抜く唯一の方策です。

公認証書を手にした石井みどり候補予定者は、新たな気持ちで選挙戦中盤を迎え全国を疾走します。

《東京都後援会総決起大会盛況に開催される》

11月30日、東京都歯連盟主催「石井みどり東京都後援会総決起大会」が新歯科医師会館大会議室で開催されました。

既に東京では、遊説開始当初から地区単位で石井みどり候補予定者も集会を重ねており、大会では大曽根都歯連盟会長(日歯連盟副会長)が、今回の選挙の意義を改めて訴え、「首都東京での大きな票を持って石井選挙の勝利を勝ち取ろう」と檄を飛ばし、立ち見も出る会場は勝鬨をあげるなど、大いに盛り上がった集会となりました。

《茨城県技工士会、石井候補予定者支持表明》

既に関東地区では、各県、地区の技工士会の幹部が個人的な立場で参加されている集会が日に日に多くなっている中、12月3日茨城県歯会館で開催された「石井みどりを囲む会」において、茨城県歯科技工士会会長が、歯科界全体が一致して議席を獲得し医療を変えてもらいたいという主旨のもと、県技工士会全体として石井氏への支持を表明されました。

歯科衛生士会、歯科商工協会に続く、デンタルファミリーの支援の輪の広がりは今後の活動を推進する大きな支えになります。

平成18年度

第3回連盟理事会

12月19日(火)午後6時よりリーガロイヤルホテル広島3階「宮島の間」において、標記理事会が開催された。荒川理事長の進行のもと、本会長を議長として、岡田副会長の開会の辞で始められた。

まず本会長より挨拶



第3回連盟理事会(12/19)

があり、その中で、「日歯連盟については、レセコンの問題・歯科医師需給問題・診療報酬の問題・事業税の問題の4点を重点的に要望している。石井選挙に関しては、企業・団体・国会議員等に挨拶廻りをし、働きかけをしている」と現状の報告があった。

続いて、次期参議院選挙の石井みどり候補より「3月25日以来あと1県を残すのみで、46都道府県を廻り、どこでも熱心に応援してもらっている。この春の診療報酬の改定が名目以上の大きな打撃になっている現状を目の当たりにして、良質な歯科医療を提供できる安定した経営が行えるよう、歯科医師需給問題・税制・診療報酬等を早急に改善していかなければならないと感じた。そのためには来夏の参議院選挙で勝利し、職域代表として力を発揮したい」と力強い挨拶があった。

次に、報告事項に入り一般事務報告、中央情報報告、その他

続いて、協議事項に入り次期参議院選挙の取り組みについて

次期統一地方選挙について

県歯連盟会員の免除について

その他

最後に小松副会長の閉会の辞にて終了した。

連盟支部だより

広島市支部

政治を語る会

10月21日(土)県歯会館6階「ハーモニーホール」において、県歯連盟広島市支部の主催で標記の会が開催された。

今回は前回(平成14年)に続き、選挙区地域においても日頃の政治への思いを議員の方々に交え両者の立場から率直に意見を述べ合い、相互に理解を深めるとともに、より良い連盟活動の展望を考える場とする趣旨で企画された。

森本克廣副支部長の司会で進行され、小松昭紀支部長が今回の趣旨について説明をした。来賓の

10月21日(土)県歯会館6階「ハーモニーホール」において、県歯連盟広島市支部の主催で標記の会が開催された。

今回は前回(平成14年)に続き、選挙区地域においても日頃の政治への思いを議員の方々に交え両者の立場から率直に意見を述べ合い、相互に理解を深めるとともに、より良い連盟活動の展望を考える場とする趣旨で企画された。

森本克廣副支部長の司会で進行され、小松昭紀支部長が今回の趣旨について説明をした。来賓の

挨拶の後、岸田文雄衆議院議員と、溝手顕正参議院議員の講演に移った。岸田文雄議員は「小泉政権の5年5カ月で政治改革はかなり進んだ。これからの安倍内閣では当然生じる格差を埋める政策を講じる必要がある。口腔機能の重要性、全身との関わりは充分認識している」とし、溝手顕正議員は「小泉だから許された改革の痛みは安倍では許されない」として安倍内閣では前政権とは修正的に動く講演した。

この後のディスカッションでは「安全」「教育」「健康」をキーワードとして会場での連盟員からの質問に答え、今回の保険改正では数字以上に医療人としてのプライドを傷つけられた点、レセプトオンライン化、明細付きの領収書などに質問が集中した。小松昭紀支部長は「日本が先進諸国の中で最低の国民医療費支出に抑制されているにもかかわらず、長寿世界一を維持しているのは、国民皆保険制度の効果である。歯科医療費はここ10数年来さしたる増大もなく、ほぼ一定の水準で推移しており、わが国の医療費の増加には殆ど関与していないにもかかわらず、保険点数改正による患者負担増には敏感に反応し、すぐに受診抑制が起ころ。これが歯科医療に対する国民の認識であり、家計の支出が冷え込むと、医療の支出は変わらないが、歯科の支出は抑制される。いわば、

療費の抑制効果があると、保険制度は堅持し、混合診療の導入はない」との確約をいただいたが、我々連盟が推薦し、支援するからには歯科界の納得いく結果を期待したい。参加者は57名であった。

引き受け頂き、30分間という限られた時間であったが、「これからの歯科衛生士に求められるもの」と題して学生にもわかりやすく講演を頂いた。

今後ますます医療費抑制がかかってくる状況で、職域の代表として活躍して頂くために石井先生の応援を一層お願いしたいと徳久会長の挨拶があった。

年末の忙しい中ご出席いただいた先生方に心から御礼申し上げます。

代表として何をやるべきかが必要かを熱く語られた。続いて、赤木真一連盟常任理事より更なる多くの後援者名簿の提出と、メディア戦略における協力をお願いがあった。最後に、奥井寛副会長の閉会の辞で終了した。

連盟会務報告

(平成18年10月12日～12月18日)

- 11・10 第2回連盟理事会
- 11・10 平口洋君を激励する集い
- 11・10 連盟ニュース127号発行
- 11・10 日歯連盟理事会
- 11・10 県歯連盟広島市支部「政治を語る会」
- 11・10 自民党広島県第一選挙区支部大会
- 11・10 寺田稔氏フォーラム2006
- 11・10 石井候補と関係団体・企業挨拶廻り
- 11・10 石橋良三君を励ます会
- 11・10 日歯連盟総合戦略会議
- 11・10 亀井静香「日本をどうする!」セミナー
- 11・10 日歯連盟理事会
- 11・21 中川秀直自民党幹事長と面談
- 11・25 中川秀直自民党幹事長「政経セミナー」
- 11・28 斉藤鉄夫衆議院議員(政調会長)と面談
- 11・28 日歯連盟時局対策委員会第4回診療報酬問題対応チーム
- 11・29 中川秀直自民党幹事長と面談
- 11・29 溝手顕正防衛大臣と面談
- 11・29 河村建夫自民党政調会長代理就任書籍出版祝賀会
- 12・4 自民党西区第一支部研修会
- 12・4 日歯連盟総合戦略会議
- 12・12 連盟ニュース128号発行
- 12・15 各地元国会議員等事務所挨拶廻り



「政治を語る会」の様子

は抑制される。いわば、歯科医療費は必需財であるため抑制されないが、歯科医療費には贅沢の部分もあるため、不景気に左右されやすい。歯科が必要財になるためには、全身の健康に大きく関与し、医

福山支部

特別講義

12月20日(水)午後2時より、石井みどり先生



講演する石井みどり候補

をお迎えし附属歯科衛生士学校の特別講義が「アイポリーホル」で行われた。

石井先生は、日歯連盟の推薦を受け次期参議院議員候補として出馬され、講演等で全国を飛び廻っておられる中、今回の講師依頼も快くお

びかけた。次いで、来賓の本山栄荘県歯連盟会長による挨拶が行われ、本会並びに連盟の現況報告と会員の協力に対する感謝の意が述べられた。引き続いて、石井みどり候補より挨拶が行われたが、その中で石井候補は全国行脚の中で感じた歯科界の現状を報告し、職域

佐伯支部

石井みどり先生を励ます会

12月20日(水)午後7時30分から、「広島サンブラザ」において、県歯連盟佐伯支部主催による「石井みどり先生を励ます会」が開催された。福原清行副会長の開会の辞で始まり、新田栄治専務理事の司会の下、はじめに甲野峰基会長より挨拶が行われた。挨拶の中で、この一年を振り返るとともに、来年行われる参議院選挙へ出馬する石井みどり候補への激励と会員への惜しみない協力を呼

びかけた。次いで、来賓の本山栄荘県歯連盟会長による挨拶が行われ、本会並びに連盟の現況報告と会員の協力に対する感謝の意が述べられた。引き続いて、石井みどり候補より挨拶が行われたが、その中で石井候補は全国行脚の中で感じた歯科界の現状を報告し、職域

代表として何をやるべきかが必要かを熱く語られた。続いて、赤木真一連盟常任理事より更なる多くの後援者名簿の提出と、メディア戦略における協力をお願いがあった。最後に、奥井寛副会長の閉会の辞で終了した。



職域代表として何をやるべきかが必要か

